

# 平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,512,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

## ●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	17,499	16,103	18,013	15,693	18,565
	移動児童館利用者数	1,021	670	974	794	1,390
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	20	14	19	21	26
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施 ②所長(正規職員)、正規職員1人、非常勤職員3人の合計5人配置(保育士は所長を含め4人、教職資格者1人) ③児童センターのお知らせ「はみんぐ」乳幼児用と児童用の2部を毎月発行・配布、館内展示(次回の工作見本など)法人のホームページに掲載、毎月の行事報告(コメント入り写真)も館内掲示やホームページに掲載 ④常時ご意見箱を設置すると共に、利用者アンケートを実施し、問題の解決に努めている。また、来館・退館時に声を掛け話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。 アンケート結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を毎日遂行、玩具については、定期的な消毒を実施。毎日の片づけ時に破損等の点検を実施。 ③普段から省エネ(使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電など)に努め、牛乳パックなどの廃材を利用して工作をする事で経費の縮減に努めた。 ④専門業者による遊具点検(室内の平均台などの点検や野外の鉄棒や砂場周辺などの安全維持管理の為) 玩具の破損はおもちゃ病院ぎふに修理依頼。 警備業務…機械業務 (毎夜 午後5:30～翌日の午前8:30) (休館日 午前8:30～翌日の午前8:30)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が修繕を実施。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施。接遇や個人情報などの研修に参加し伝達講習を行い職員の認識強化を図っている。ヒヤリハット記入を強化し周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。また、法人内においても監査指導を受けている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○平成29年7月に乳幼児クラブの保護者にアンケート(無記名)を実施。          回答者数 149人          回答者の年代 10代0人、20代20人、30代131人、40代16人(女性146人、男性3人)          ○平成29年7月5日～15日に小中高生のアンケート(無記名)を実施。          回答者数 41人          学年 小1 13人、小2 3人、小3 3人、小4 6人、小5 7人、小6 6人、中学生 3人          ○平成29年7月14日～9月12日に担当校区の小中学校において「加納児童センターの認知度について」のアンケートを担当の先生からの質問形式により子どもたちの挙手で実施。          回答者数 2,935人</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>&lt;乳幼児クラブの保護者のアンケート結果&gt;          ○職員について          ・挨拶 満足145人、ほぼ満足4人、普通0人、やや不満0人、不満0人          ・言葉遣い 満足145人、ほぼ満足4人、普通0人、やや不満0人、不満0人          ・対応 満足143人、ほぼ満足6人、普通0人、やや不満0人、不満0人          ○施設について          ・使いやすさ 満足 99人、ほぼ満足49人、普通1人、やや不満0人、不満0人          ・整理整頓 満足 97人、ほぼ満足52人、普通0人、やや不満0人、不満0人          ・清掃 満足105人、ほぼ満足44人、普通0人、やや不満0人、不満0人          ・換気 満足 94人、ほぼ満足55人、普通0人、やや不満0人、不満0人          ○幼児クラブに参加して          満足125人、ほぼ満足23人、普通0人、やや不満0人、不満1人          ○性別・年齢について 性別 男性3人、女性146人          年齢 10代0人、20代20人、30代113人、40代以上16人          ○乳幼児クラブに参加したきっかけ          ホームページ45人、友達からの情報31人、来館して69人、その他4人</p> <p>&lt;小中学生のアンケート結果&gt;          ○性別 男20人、女21人          ○来館回数 毎日4人、週2～3回19人、週1回5人、月2～3回8人、月1回1人、その他4人          ○誰と(複数回答) 一人18人、友達12人、親7人、兄弟4人          ○交通手段 歩いて16人、自転車19人、自動車6人          ○目的(複数回答) 友達と遊ぶ30人、なんとなく7人、行事参加4人、友達見つけ2人先生と遊ぶ・話す2人、その他7人          ○楽しい遊び(複数回答) ドッチボール26人、オセロ9人、ボードゲーム6人、カロム5人、卓球4人、その他7人          ○楽しい行事(複数回答) カロムの日10人、卓球の日6人、オセロの日6人、折り紙教室3人、絵画教室2人、囲碁、将棋の日2人、音楽ひろば1人、裁縫の日1人、その他6人          ○児童センターを利用して気付いたこと、意見など          ・レゴブロックを増やしてほしい。</p> <p>&lt;小中学生の「加納児童センターの認知度についてのアンケート」&gt;          1 加納西小(282人) 知っている280人(99%)、知らない 2人(1%)          2 三里小 (755人) 知っている216人(29%)、知らない539人(71%)          3 厚見小 (549人) 知っている146人(27%)、知らない403人(73%)          4 加納小 (299人) 知っている 45人(15%)、知らない254人(85%)          5 付属小 (541人) 知っている106人(20%)、知らない435人(80%)          6 陽南中 (509人) 知っている284人(56%)、知らない225人(44%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>&lt;要望⇒回答&gt;          ○パパや幼稚園児がさんかできる行事を休日にしてほしい。          ⇒7.8月の祝日に&lt;パパとあそぼう&gt;を計画して行いました。たくさんの親子に参加して頂き楽しい時間でした。ホームページに遊びの様子をのせてありますのでご覧ください。          ○床に髪の毛が落ちることがあり、気になります。          ⇒清掃回数を増やし、見回りの強化をします。          ○幼児クラブの時に、子どもが扉から出て行ってしまうのが怖い。          ⇒幼児クラブの時は、補助の職員が全体を見守るようにしていますが保護者の方もお子さんから目を離さないようにしてください。活動中は、基本は入口の扉を閉めるようにしています。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>(子育て支援) △乳幼児クラブでは、昨年に引き続き登録制クラブと自由参加クラブを設け、利用者のニーズに合わせた遊びを多く取り入れた。親子の製作やリズム、運動遊びが人気であり好評であった。登録制クラブは待機して頂く親子もあり、定員を増やしていくことを検討した。岐阜市の中心部にある事や、乳幼児教室へ参加の方のロコミ等もあり、エリア以外の参加も増え、職員の嬉しい悲鳴があった。 △乳幼児アンケートの要望の中に、下の子と一緒に父親と上の子(園児)が参加できる行事を設けてほしいとあった為、早速「パパと遊ぼう」を7、8月祝日に計画した。当日はボールやフラフープなどダイナミックに遊べる内容や、普段の母親との遊びを取り入れたことで好評であった。 (児童健全育成) △昨年の「もりあげ隊」から、ネーミングを変え、今期は子ども達が自分で考え、企画運営する事を目的とした『子ども運営委員会』を設けた。児童センターだよりで委員を募集したところ、5～6年生の男女6人の申し込みがあった。第1回委員会(5月)では、年間計画を決めた。初めは、お化け屋敷(7月)を行った。子ども達は積極的に意見を出し合い、内容が煮詰まるまでには、いろいろあったが何とかこぎつけることができた。みんなで、段ボールのお墓や井戸を作ったり、ポスターを描いたり、お化けに変身してりっぱなお化け屋敷ができた。初めての試みだったが、入場者数が81人もあり、行事の成功に子ども達は達成感を味わう事が出来、自信につながったと思う。また、遊びに来ていた子どもから、今度はお化け屋敷の中に入ってお化けになり、人を驚かせたい(運営側へ参加したい)との声も沢山あった。今は次回(ハロウィンパーティー)に向けて活動中である。 △カロム、チェス、オセロゲームに加え、夏休み(8月)から、ソリティア(ボードゲーム)を取り入れた。最初は自分の挑戦だったが、友達と競う気持ちが芽生えた為、表に名前を書き、ソリティアが1つ出来たらシールを1枚貼るようになった。子どもから大人まで楽しく脳トレが出来て好評である。 △絵画コンクールに応募した。(第12回「森の戦士ポロン」) (ポロンとうみ・かわ・やま・もり・そののいきもの) 描く前に、絵画教室の先生に「森の戦士ポロン」の本を読んでいただき、子ども達の描くイメージを膨らませた。23人の子ども達は心優しいポロンを描いた。話を聴いて絵に描く事として物語を想像して描く楽しみを味わった。 △本部からの指導も受けながら、必要でない棚や壊れた遊具などの整理・整頓することができ、センター内の環境整理に取り組んだ。 △夏休みから、カロム大会を毎月1回 ぎふ長良川カロムクラブの協力を得て行っている。子ども達は、クラブの先生に勝ちたい為に、普段の遊びに来た時もカロム遊びをして腕を磨いている。クラブの先生が見えるようになってカロムをする子どもが増えてきた。 (その他) △児童センターだより「はみんぐ」を本部の広報部と業務改善をしてリニューアルをした。 ① 昨年まで、横(A4サイズ横向き)⇒今期から縦(A4サイズ縦向き)にした。 ② 地域の方から、縦になったので見やすく設置しやすくなった。加納児童センターと、「はみんぐ」の名前が大きくなり、よくわかるようになって見やすくなったとの感想を頂いた。 ③ ホームページの掲載を早めに本部に依頼して、広報活動に励んでいる ④ 新しく聾学校に配布を始めた。 △今年度から、運営委員会に附属小学校副校長が出席して頂けるようになった。 地域の中で、一緒に子ども達を見守りたいと話された。附属小の子ども達は行事の参加がロコミで年々増えている。今期の運営委員会は意見交換が活発であった。児童センターの行事への興味関心が深まった会であった。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>△委員会の意見より「子ども運営委員会」の設置の実現について、上記のとおりすでに取り組んでいます。 △移動児童館について 加納児童センターは、以前は半期に30回程度、移動児童館を実施していたが、職員不足、児童センター内の幼児教室の行事が重なり、サークルさんにお断りをする事が何度かあった。しかし、平成29年度から移動児童館数が標準で12回～24回未満になった事から、今後の移動児童館の取組みについて職員同士で検討しているところである。特に、職員の負担など慎重に見直していく必要がある。 △利用者ニーズに答え、心地よい環境作りをしたい。 前回の要望(駐車場の出入りの際の声掛けや停め方について)をふまえ、職員がしっかり誘導しトラブルなく利用して頂けた。利用者同士の譲り合いや声のかけ合いにも協力して頂けるようになり利用しやすくなったと思う。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・△子ども運営委員会を基に、リーダーの養成を考えたい取組みを合わせていきたい。子どもが主体的に活動し、縦割りの形で年上の子が年下の子に教えながらやっていく協力体制を整えていきたい。 △子育てに関する講座を企画して、親子で楽しむ行事や、子ども達が楽しむ行事を今後も取り上げ実施していきたい。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の児童センターだより「はみんぐ」を乳幼児用・児童用に分け作成、担当地区の小中学校、幼稚園、保育園、公民館、コミュニティセンター、ドリームシアターぎふに配布するほか、ホームページにも掲載した。今期は新たに聾学校にも配布し、広報に努めた。また、「はみんぐ」を母体法人の職員と連携し、見やすくなるようリニューアルした。 子どもたちが中心となって児童センターの行事を企画・運営することを目的に「子ども運営委員会」を立ち上げ、今期は「お化け屋敷」を開催し、子どもたちのやる気と自主性を育む事業となった。 担当地区の高齢者のボランティアに講師をお願いし、地域との連携、交流を図るとともに、高齢者の活躍の場を提供した。 移動児童館について、上半期20回開催し、仕様書による目標数値の24回/年(平均2回/月)に向け順調に達成しており、下半期も引き続き行って頂きたい。 今期台風の接近が相次いだが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。 職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
---

●指定管理者評価委員会の意見

<p>移動児童館について、今期20回と積極的に開催されており、児童館の無い地域の利用促進に努めていることを評価したい。 児童センターだよりの聾学校への配布について、障がい者の受け入れを積極的に推進することを評価するとともに、受け入れ体制の構築に期待したい。 小・中学生への児童センターの認知度アンケートは、今までにない斬新な取組みであり、子どもたちが児童館を利用する動機付けにもなることからS評価とした。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---